



開校22年目

「よく学び 心ゆたかに やりぬく子」

新座小だより



埼玉県新座市新座 3-4-1 TEL 048-478-2760
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-niiza>

令和7年度5月号
児童数：290名

人の良いところを見つける

校長 小俣 優子



昇降口前のツツジが満開です。

「私にはいいところが・・・」

先日、5月のお話朝会で「人の良いところを見つけて真似をしよう」という話をしました。

人が成長していく、また賢くなっていくためには「真似る」ことから始まるので、例えば〇〇さんは人の話を聞くのが上手、〇〇さんはいつも元気に遊んでいる、〇〇さんのボールの投げ方がカッコいいなど、まずは人の良いところを見つけて真似してみる。そうするうちにその人に近づき、自分が良い方向に変わっていくと話しました。

ところがその後、ある子が私に話しかけてきました。「私にはいいところがないから誰からも真似なんてされない。」と言うのです。

その話を聞いたとき、自分の良いところに気付いていない子が実際には多いのかもしれないと思いました。自分には良いところがないと思っていても、必ず誰にも良い面が存在します。それに気付かせ、自信をもたせるには、友達や周りの大人の言葉かけが大変効果的です。

リフレーミング

物事にはコインのように表と裏の両面があり、マイナスと思われる面をプラスに変換して、物事の味方を変えることを「リフレーミング」と呼びます。例えばコップに水が半分入っているとします。

「もう半分しかない」「まだ半分ある」というそれぞれの表し方により、同じ量の水でも感じ方が異なるというものです。

リフレーミングの例を挙げてみますと、

- ・発言が苦手→話を聞くのが上手
- ・動作が遅い→丁寧に取り組む
- ・頑固→自分の気持ちが強く人に流されない
- ・神経質→細かいことが得意
- ・飽きっぽい→好奇心旺盛
- ・怒りっぽい→正義感が強い

など、他にも無数に考えられます。

日頃否定的に捉えていることをまずは大人がリフレーミングして長所として捉え直し、子供たちにポジティブな声掛けをしていくことが、結果的に子供の自己肯定感を高め、能力を伸ばすことにつながってきます。

学校でも子供たちの様子をしっかり見取り、積極的に前向きな言葉がけを行ってまいりますので、ぜひご家庭でも新たな視点でお子様を見つめ、温かい言葉がけをお願いいたします。

授業参観・懇談会へのご参加、 ありがとうございました。

新年度になり、初めての授業参観・懇談会を行いました。子供たちが楽しく活動したり真剣に考えたりする場面を見ていただけたのではないのでしょうか。懇談会では、校長や担任の思いを伝えさせていただきました。

今後もお子様のことでご心配な点がございましたら遠慮なくご相談ください。

